

# わたしの子育て

前衆議院議員・拓殖大学客員教授  
星槎国際高等学校講師

## 城内 実



## 城内 実

(きうち みのる)

東京大学教養学部国際関係論分科を卒業し、  
平成元年 平成2年 平成14年 平成15年 年年  
外務省に入省 在ドイツ日本大使館勤務  
農林水産委員会委員、環境委員会委員、  
党改選実行本部幹事  
平成18年 平成17年 平成16年  
第44回衆議院議員選挙にて748票差で惜敗

平成18年  
平成17年  
平成16年

外務省を退官し、公募に応募  
衆議院議員初当選(無所属)  
拓殖大学客員教授



「お父さん、今度の選挙必ず勝つてね。でもお父さんがまた東京に戻っちゃうとぼくさみしいよ」長男の口からこういう言葉が出たときには胸がぐつと熱くなりました。子供なりに心の葛藤、さまざまな思いがあるのでしよう。

現在我が家の長男は小学校一年生で六歳、次男は幼稚園の年中組で五歳。学年は二つ離れていますが、いわゆる年子です。

長男は科学関係の本に興味を持つており、生物、宇宙のいろいろなことがらに対し「なぜ?」「どうしてそうなるの?」ときいてきます。こちらがうまく説明できないこともしばしば。それでもコミュニケーションを通じて不思議と親子の信頼関係が芽生えています。

次男は最近電車や切手に興味を持ち、自分で電車や切手の絵をかいています。意外と細かいところもかいてあつたりして驚いたりします。うまくかけたらできるだけほめてあげます。

約一年九ヶ月衆議院議員をつとめさせていただきましたが、現職の議員のころは、平日は東京におり、週末だけ浜松に戻ってくるという生活パターンでした。週末地元に帰つても土曜、日曜には各種の行事やイベント、ミニ集会がめじろおし。子供と遊んだりふれあう時間はほとんどありませんでした。子供たちは週末だけたまに寝泊まりに帰つてくる「よそのおじさん」くらいにしか思つていなかつたかもしれません。

それが、一昨年の郵政解散選挙で748票差の僅差で落選。それ以来毎日家に帰つてくる生活。子供とふれあう機会も多くなり、たまに夜早く家に帰つくると子供たちに本を読んであげたりするようになりました。

もあります。そういう時は中腰になつて子供の目線に合わせて「どうしたの?」とこぢらから優しく問い合わせたりします。

ただし、叱るときはきちんと叱ります。子供部屋におもちゃをちらかしほうだい。そういう時は片づけがすむまで許しません。

子供とひんぱんに接するようになつて感じることは、妻が子供の食事を作つたり、洗濯したり、二人の子育てで大忙しだということです。私も少しでも妻の子育ての負担を軽減すべく、たまに洗濯を手伝つたりしますが、妻に言わせるとまだまだじゅうぶんでないと不満のようです。

先日あるご家庭を訪問したら、小さな子供たちが四人元気良く部屋の中で遊んでいました。「お子さんもしかして四人いらっしゃるのですか?」と若い奥さんにおそるおそるたずねたら、「はい、そうです。もうすぐ五人目が生まれます」と答えました。良く見たらなんとおなかに5人目のお子さんが。本当に頭が下がる思いです。

この話を妻にして、「うちもあと三人くらい子供が欲しいね。少子化対策に自ら貢献したいし」と言つたら、「子供を産むのは私。育てるのも私が。今は経済的余裕もないし、もつと子育てに協力しないとダメ」と一蹴されました。

いずれにしても、私が次回衆議院議員選挙に当選しないと我が家の三人目は無理のようですが。

はままつ美術研究所

# 子ども絵画造形科

# 生徒募集

問い合わせ先

Tel 432-8002 浜松市富塚町1209-16 TEL 053-474-0506 FAX 053-474-0525

HP <http://www.hamabi.co.jp/>